申請書の書き方（表面）

＜専攻科＞（新入生・前倒し支給用）

〇「奈良県高校生等奨学給付金申請書」の書き方と、記入上の注意事項です。

〇記入にあたっては、**黒字のボールペン**で記入してください。（**消せるボールペンは使用しないでください。**）

〇記入誤り等は、その部分を**二重線で消したうえで訂正**してください。（**修正テープや修正液は使用しないでください。**）

記入例内の赤字部分はすべて記入必須項目です
※**本年4月1日時点**の状況を記入
※連絡先は必ず1つは指定して下さい
※一部項目について、該当がない場合については空欄可（出席番号　等）

第1号様式(第5条関係)　　<本年4月1日時点の状況を記載>　　私立学校

記入例

奈良県知事　　殿　　申請日　令和8年　5 月　25 日

令和8年度　奈良県高校生等奨学給付金申請書【新入生・前倒し支給用】(専攻科)

☑ 4～6月分に相当する額の前倒し支給申請
奈良県高校生等奨学給付金の4～6月分に相当する額の前倒し支給申請します。
※基準日(4月1日)現在の状況に基づき、審査します(課税証明書：申請年度の前年度のものを添付)。

☐ 7～3月分に相当する額の支給申請
既に4～6月分に相当する額の前倒し支給を受けているため、7～3月分に相当する額の支給申請します。
※基準日(7月1日)現在の状況に基づき、審査します(課税証明書：申請年度のものを添付)。

ふりがな	なら　たろう	高校生等との関係	☑主たる生計維持者(父母) / ☐主たる生計維持者(父母以外) ☐本人 / ☐その他(　)
申請者(保護者等)	奈良　太郎	連絡先①(母) 連絡先②(自宅)	000 - 1234 - 5678 ※日中連絡が可能な連絡先 0742 - 27 - 8347
申請者の住所	〒630-8501 奈良県 奈良市登大路町30		
ふりがな	なら　みやこ	生年月日(西暦)	2007 年 4 月 15 日 (18歳)
生徒氏名	奈良　都子	入学年月	令和 8 年 4 月
		修学支援金申請(受給)の有無	☑有 ・ ☐無
在学する学校名	私立 ●●●●高等学校 1 年 1 組 (出席番号 18)		看護 学科
<転学・退学等がある場合> 過去の高等学校等における在学期間	学校名 立	年 月 日 ～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科 / 在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 不明 ☐ ☐ ☐ ☐
	学校名 立	年 月 日 ～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科 / 在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 不明 ☐ ☐ ☐ ☐

全員記入

【1】高校生等(本人)について
生徒本人の国籍・在留資格・在留期間等が確認できる住民票等を提出します。該当する項目について選択(☑)し、太枠内を記入して下さい。

●対象生徒(本人)の国籍　☐日本国 ・ ☑日本国以外

以下、上の欄の国籍を「日本国以外」で選択した方のみ住民票記載内容等を元に記入してください。

●対象生徒(本人)の在留資格

①	☐	特別永住者		
②	☐	永住者		
③	☐	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西暦)　年　月
④	☐	永住者の配偶者等	在留期間(満了日)	(西暦)　年　月
⑤	☐	定住者	在留期間(満了日)	(西暦)　年　月
			日本国に永住する意思はありますか	☐はい ・ ☐いいえ
⑥	☑	家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦) 20XX 年 10 月
		※1.2.3について「はい」の場合各「卒業証書の写し」または「卒業証明証(原本)」の提出が必要	1.日本国の小学校を卒業しましたか※	☑はい ・ ☐いいえ
			学校名	ならしか西 小学校
			2.日本国の中学校を卒業しましたか※	☑はい ・ ☐いいえ
			学校名	ならしか東 中学校
			3.日本国の高等学校を卒業しましたか※	☑はい ・ ☐いいえ
			学校名	ならしか南 高等学校
			4.日本国で就労する意思はありますか	☑はい ・ ☐いいえ
⑦	☐	上記以外の在留資格(留学等)※留学生については令和7年度までに入学した者のみ対象。	在留期間(満了日)	(西暦)　年　月

【2】申請区分について
申請される世帯区分に該当するものを選択(☑)してください。(1箇所のみ記入してください。)

	申請	世帯区分
①	☑	主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が0円(非課税)である世帯
②	☐	主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が105,500円未満である世帯(①以外)
③	☐	扶養している子(兄姉弟妹)が3人以上いる世帯であって、主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が105,500円以上264,500円未満である世帯

・**申請者は、生計維持者（父母）等**になります

・**申請者**は、生徒1名に対して、その生徒の父母等の**いずれか1名**を指定してください
　※【3】で選択した主たる生計維持者等の状況に則った者

・ここで記入していただく申請者は、**「口座振替申出書」**（申請者全員が提出）に記入いただく申請者と**同一人物**でなければいけません
　※申請者：父の場合、母の口座は指定できない

【修学支援金申請（受給）の有無】
国の授業料支援の補助金の申請について、申請中を含みます

【過去の高等学校等における在学期間】
※本対象は新1年生のため記入不要

生徒本人の国籍について**日本国**または**日本国以外**のどちらか一方に☑を入れてください

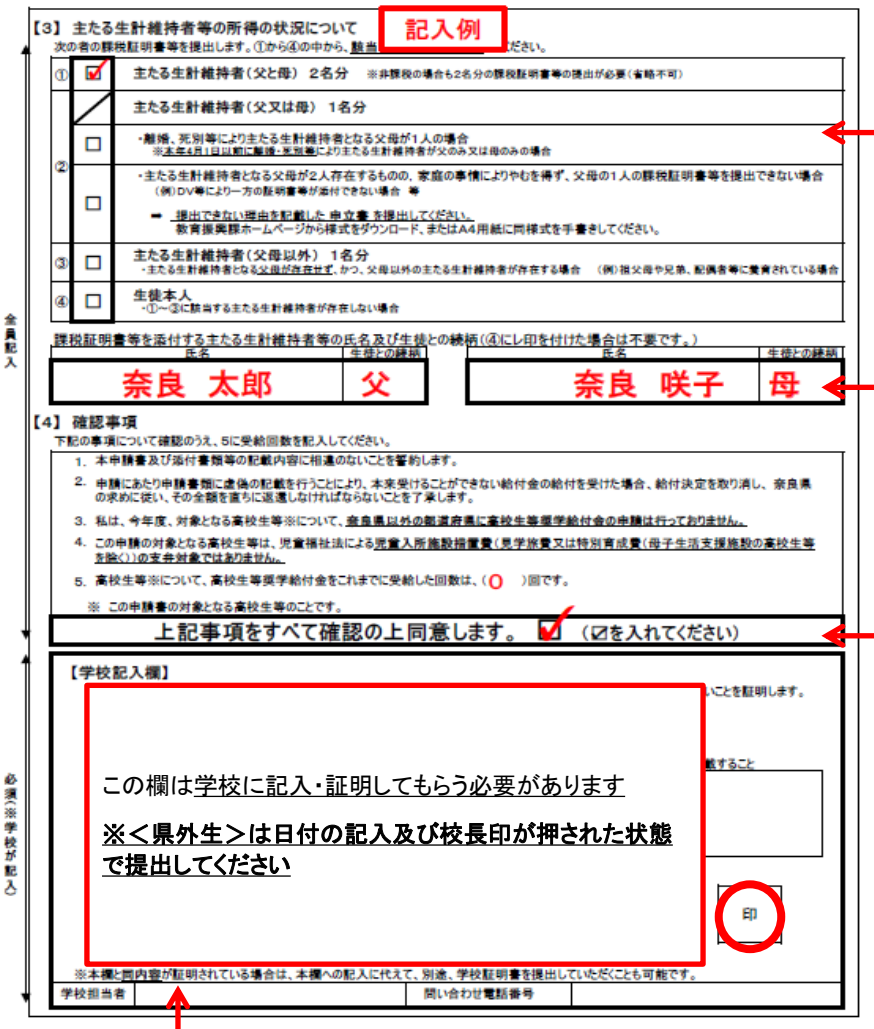
「**日本国以外**」の場合、下の①～⑦のいずれか該当する項目に☑を入れ、在留期間等必要な項目を埋めてください

所得等に応じた申請区分を選択してください。

※【1】で「**日本国以外**」の場合、在留資格等によっては旧制度単価（非課税世帯の1/5）での支給となります

★必要提出書類チェックリスト★	（詳細は支給制度について裏面参照）
☐	（全員）：　**【奨学給付金申請書】**（表裏/2ページ分）
☐	（全員）：　**【令和7年度　課税証明書】**（原本）（市町村役場にて発行）　**原則父母2名分** または、「令和7年度　道府県民税・市町村民税の特別徴収税額の決定・変更通知書（納税義務者用）」のコピー※ 「令和7年度　府県民税・市町村民税の納税通知書」のコピー※
☐	（全員）：　**【口座振替申出書】**（通帳のコピー貼り付け）　※統廃合に注意
☐	（全員）：　**【住民票】**（原本）または**【特別永住者証明書】**コピーまたは**【在留カード】**コピー
☐	（申請区分③のみ）：　**【扶養誓約書】**
☐	（県外生のみ）：　**【在学（籍）証明】**（【学校記入欄】直接）または **学校発行の【在学（籍）証明書】**（【学校記入欄】を使用できなかった場合）
☐	（家族滞在者の場合のみ）：　各**【卒業証書】**コピーまたは**【卒業証明書】**
☐	（【3】②やむを得ない場合のみ）：　**【申立書】**ウェブページからダウンロード または 同様式を手書きでも可

申請書の書き方（裏面）



【3】 主たる生計維持者等の所得の状況について　記入例

次の者の課税証明書等を提出します。①から④の中から、該当する番号に☑してください。

①	☑	主たる生計維持者（父と母） 2名分　※非課税の場合も2名分の課税証明書等の提出が必要（省略不可）
②	／	主たる生計維持者（父又は母） 1名分
	□	・離婚、死別等により主たる生計維持者となる父母が1人の場合 ※本年4月1日以前に離婚・死別等により主たる生計維持者が父のみ又は母のみの場合
	□	・主たる生計維持者となる父母が2人存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書等を提出できない場合 （例）DV等により一方の証明書等が添付できない場合　等 ➡ 提出できない理由を記載した 申立書 を提出してください。 教育振興課ホームページから様式をダウンロード、またはA4用紙に同様式を手書きしてください。
③	□	主たる生計維持者（父母以外） 1名分 ・主たる生計維持者となる父母が存在せず、かつ、父母以外の主たる生計維持者が存在する場合　（例）祖父母や兄弟、配偶者等に養育されている場合
④	□	生徒本人 ・①～③に該当する主たる生計維持者が存在しない場合

全員記入

課税証明書等を添付する主たる生計維持者等の氏名及び生徒との続柄（④にし印を付けた場合は不要です。）

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
奈良　太郎	父	奈良　咲子	母

【4】 確認事項

下記の事項について確認のうえ、5に受給回数を記入してください。

1. 本申請書及び添付書類等の記載内容に相違のないことを誓約します。
2. 申請にあたり申請書類に虚偽の記載を行うことにより、本来受けることができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を直ちに返還しなければならないことを了承します。
3. 私は、今年度、対象となる高校生等※について、奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
4. この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。
5. 高校生等※について、高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、（ 0 ）回です。

※ この申請書の対象となる高校生等のことです。

上記事項をすべて確認の上同意します。 ☑ （☑を入れてください）

必須（※学校が記入）

【学校記入欄】

この欄は学校に記入・証明してもらう必要があります

※＜県外生＞は日付の記入及び校長印が押された状態で提出してください

印

※本欄と同内容が証明されている場合は、本欄への記入に代えて、別途、学校証明書を提出していただくことも可能です。

学校担当者		問い合わせ電話番号	

【主たる生計維持者等の所得の状況について】
以下の①～④のうち、該当する番号の□に☑チェックしてください

※②でやむを得ず1名として申請する場合は別途「申立書」の提出が必要です

※生計維持者（父母）等のいずれかに、昨年1月1日時点で海外在住により国内に住民票がない者がいる場合は対象外です
（ただし、課税証明書が発行出来る場合を除く）

※生計維持者2名で単身赴任により世帯分離している場合も父母2名分の課税証明書等が必要です

※本年4月1日以前に再婚し、本生徒と養子縁組をしている場合、その者は主たる生計維持者等に含みます

【生計維持者等の所得の状況について】
①～③に該当する課税証明書等を添付する＜生計維持者等の氏名＞＜生徒との続柄＞を記入してください

【確認事項について】
1～4に記載の項目について確認していただき、「上記事項すべて確認の上同意します。」□に☑チェックしてください

5. 給付金の受給回数はこれまでに受給された回数を記入してください
（新入生は今回初めての申請…「0」回）

※4については里親を含みます
お住まいの自治体担当課に必ず確認してください

※1～4について同意できない項目がある場合は申請できません

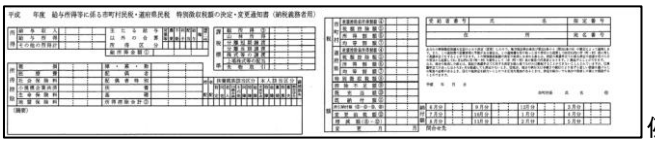
【学校記入欄について】
・学校記入欄の日付が、募集開始日以前の日付である場合は、受理できません

※在籍校が遠方等により【学校記入欄】の使用が難しい場合等、本様式と同様の文言の証明が記載されている場合につき、学校発行の「在学（籍）証明書」の別途提出を可とします

※在学（籍）のみを証明するものは不可

※添付書類の注意事項

・「道府県民税・市町村民税の特別徴収税額の決定・変更通知書（納税義務者用）」を用いる場合、
用紙に記載されている通りに切り取り線で切り離す、またはめくることにより図のように横長1枚に繋がった状態となります。コピー機の中央に配置して原寸またはA4サイズに縮小コピーしてください。
※印字が切れているものや、左右で切り離し、一枚状態でなくなったものを貼り合わせ・並べたものは不可



例図

・「府県民税・市町村民税の納税通知書」を用いる場合、複数ページに分かれる際は全ページをコピーして下さい。（並べてコピー可/印字切れ注意）
・1度提出された書類は申請者都合での返却はできません。
・課税証明書および生活保護受給証明書については、対象高校生が2名以上居る場合、1人目は原本、2人目はそのコピーでの提出可